サンワ規格サイン

取扱説明書

ファサードサイン（開閉連結式）

この度は当社の商品をご使用いただき､誠にありがとうございます。正しく安全に取り付けしていただき、また、安心してご使用していただくために､本説明書をご熟読の上､手順に従い施工を行って下さい。なお、本文中に様々な警告表示を記載しております。注意事項を守らずに施工された場合､責任は負いかねますので､よくご理解の上､施工・管理をお願いいたします。
（本説明書は安全維持とメンテナンスのために必要です。大切に保管下さい。）

説明内容

page

1　必ず守っていただきたい注意点

※ご使用の前に必ずお読み下さい。

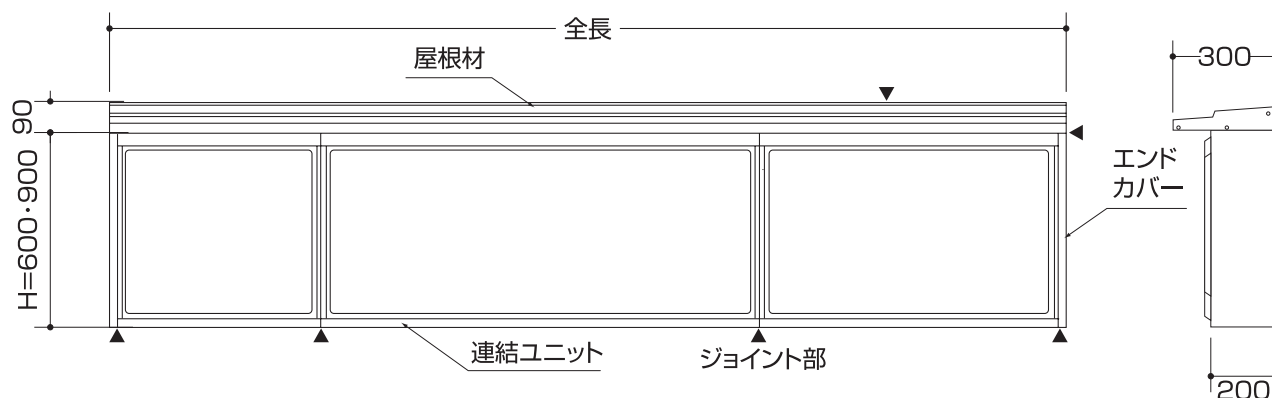
この取扱説明書に記載された注意事項は、安全に関する重要な内容のものです。
人身やその他の財産への被害を防止するために、次のような絵表示を記載しています。
下記の内容を良くご理解の上、取扱説明書をお読み下さい。
また、設置後も安全維持のためメンテナンスが必要ですので、本説明書をすぐに
取出せる場所に保管し、ご活用下さい。

警告表示とその意味

表示	意味
⚠ 警告	取り扱いを誤った場合、死亡や重傷を負う危険性があります。
⚠ 注意	取り扱いを誤った場合、けがをしたり商品を破損してしまいます。
⃠ 禁止	やってはいけないことです。
❗ 強制	必ず守っていただくことです。
! 確認	必ず行っていただくことです。

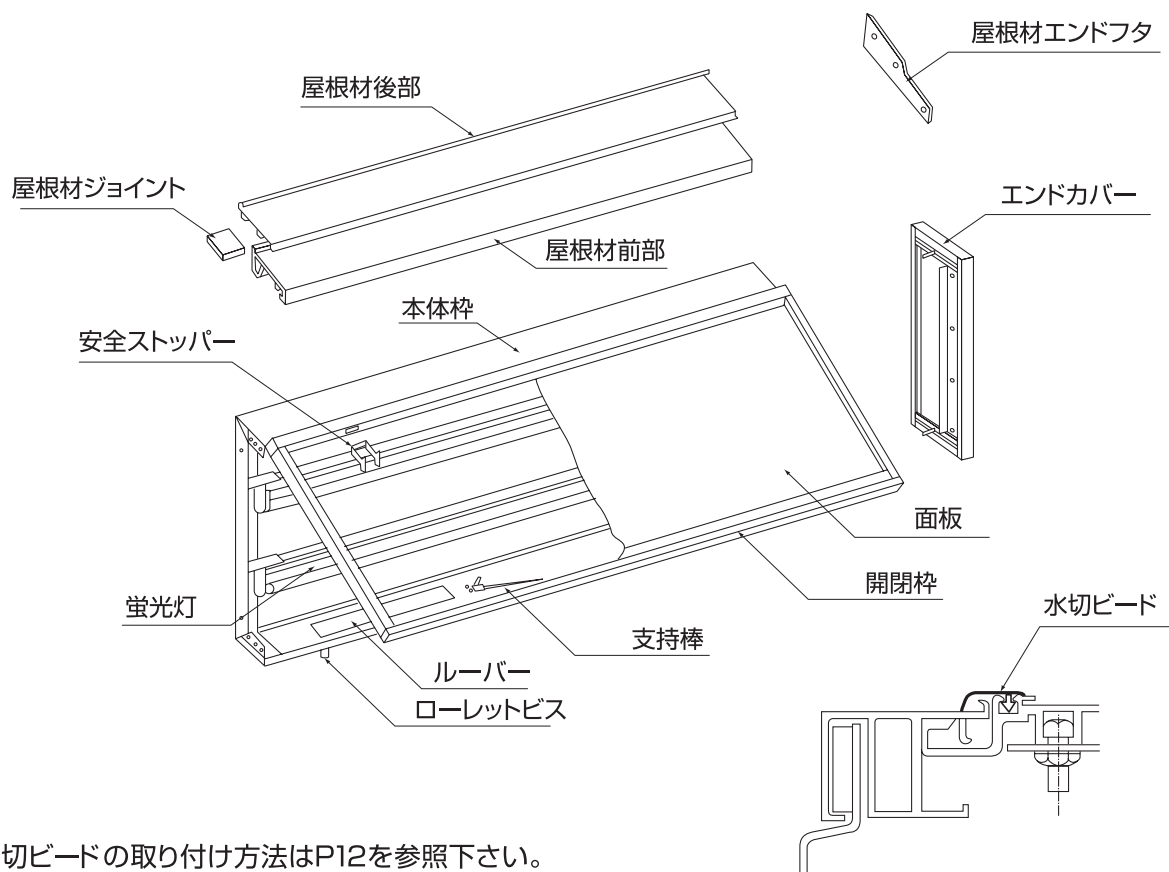
⚠ 警告	
! 確認	取り付けの高さは、地上より看板下端で2.5m〜3.5mを守って下さい。この高さを越えますと、強風時に、看板、面板、屋根材の破損、脱落の原因になります。
⚠ 警告	商品を取り付けする壁面は、取り付けに耐えうるか確認していただき、強固でない場合は、胴縁等の下地を施工して下さい。（看板の脱落により、事故をおこす原因となります。）
⚠ 注意	商品上面、両側面の壁面側は、水の侵入により内部を腐蝕させないようにコーキングを施して下さい。（漏電の原因になる可能性があります。）
! 確認	電装品は100V高力率タイプを使用しており200Vでは使用出来ません。200Vの場合は電装品の交換が必要です。 当地の周波数（Hz）と安定器の周波数が合っているか、確認して下さい。 漏電による事故を防ぐため漏電ブレーカーの設置と防水コンセントを使用して下さい。
⃠ 禁止	面板は可燃性のアクリルを使用していますので、火気を近づけないようにして下さい。
⃠ 禁止	当商品の改造は行わないで下さい。

2　商品概要

■完了図

※注意:全長は、各ユニット長さの合算とエンドカバー分（14mm厚×2）をプラスした寸法となります。

3　各部名称

屋根材はオプションパーツです。
屋根材を使用しない場合は専用水切りビードが付属します。

屋根材エンドフタ
屋根材後部
屋根材ジョイント
屋根材前部
エンドカバー
本体枠
安全ストッパー
面板
開閉枠
蛍光灯
支持棒
ルーバー
ローレットビス
水切ビード

※水切ビードの取り付け方法はP12を参照下さい。

4　概要寸法図

直線部ユニット　●フレームサイズ　●アンカー位置

! 確認	電装は100V高力率が標準です。 重量は面板も含む総重量です

■H600タイプ

U6-300
FL 15W×1
電流 0.21A
重量 5.5kg

U6-650
FL 20W×2
電流 0.52A
重量 10.0kg

U6-900
FL 32W×2
電流 0.9A
重量 13.5kg

U6-1300
FL 40W×2
電流 1.1A
重量 18.0kg

U6-1900
FL 40W×2
20W×2
電流 1.62A
重量 28.0kg

U6-2600
FL 40W×2
20W×2
電流 1.62A
重量 28.0kg

■H900タイプ

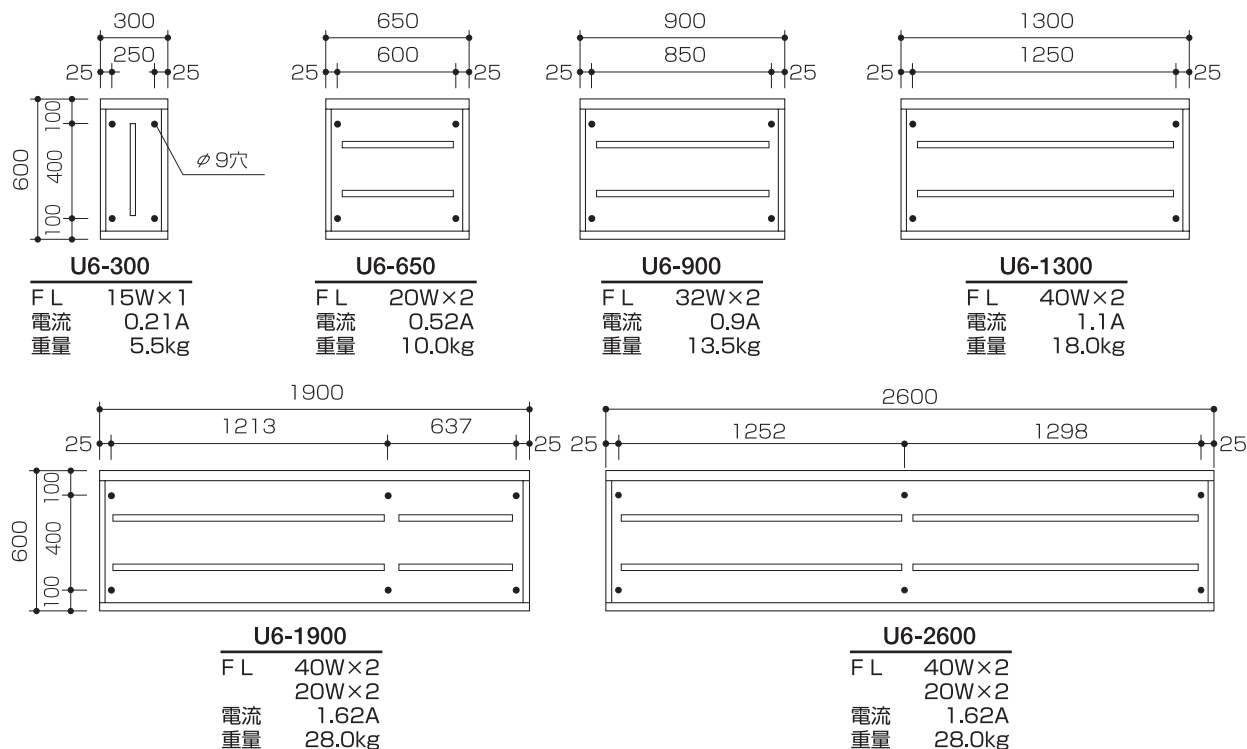
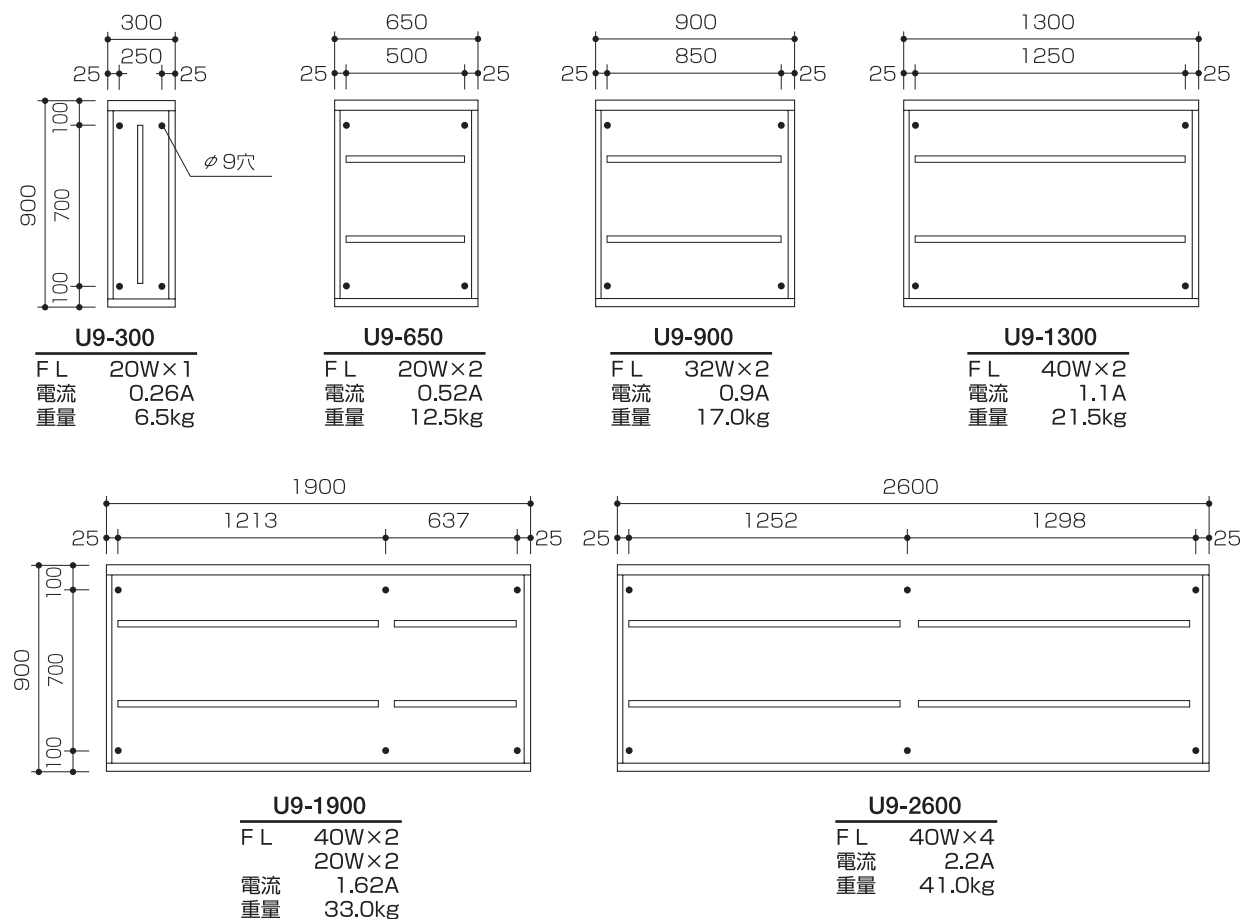
U9-300
FL 20W×1
電流 0.26A
重量 6.5kg

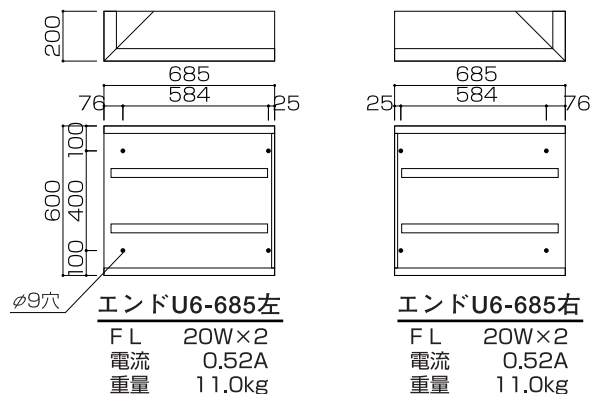
U9-650
FL 20W×2
電流 0.52A
重量 12.5kg

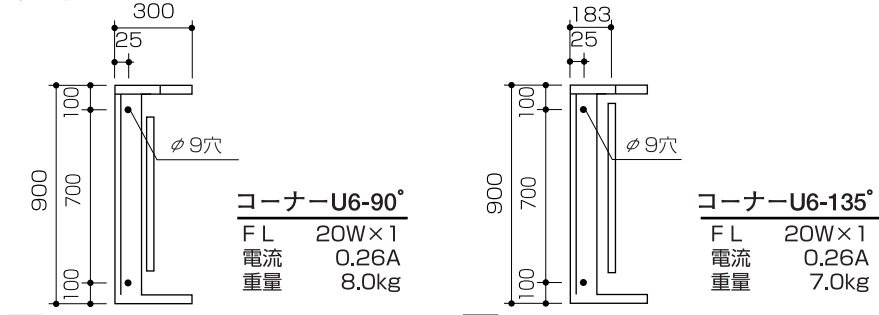
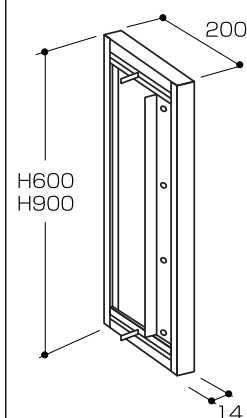
U9-900
FL 32W×2
電流 0.9A
重量 17.0kg

U9-1300
FL 40W×2
電流 1.1A
重量 21.5kg

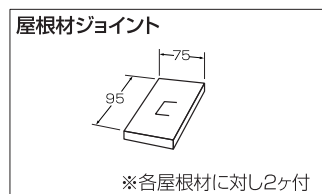
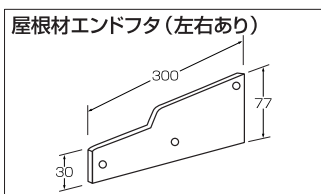
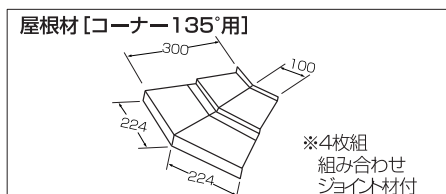
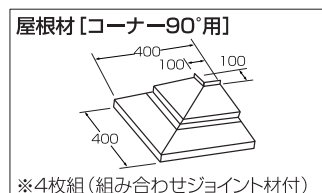
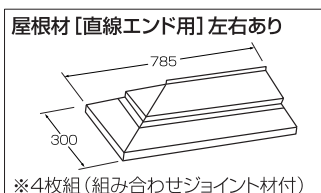
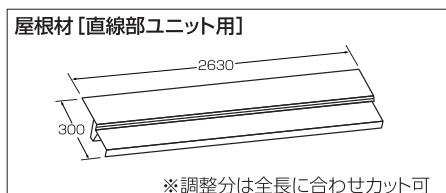
U9-1900
FL 40W×2
20W×2
電流 1.62A
重量 33.0kg

U9-2600
FL 40W×4
電流 2.2A
重量 41.0kg

直線部ユニット（エンド）●フレームサイズ　●アンカー位置

■H600タイプ

■H900タイプ

コーナー部ユニット●フレームサイズ　●アンカー位置

■H600タイプ

屋根材［オプションパーツ］（※屋根材は前部・後部の2枚組です。重量は3.3kg/m）

■H600タイプ・H900タイプ共通

開閉枠の外し方

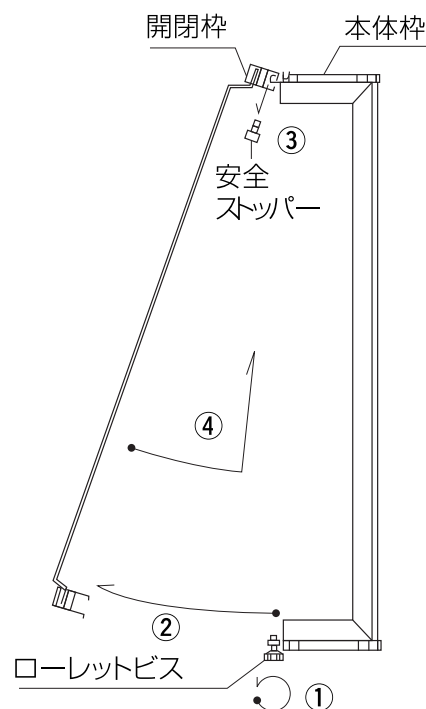
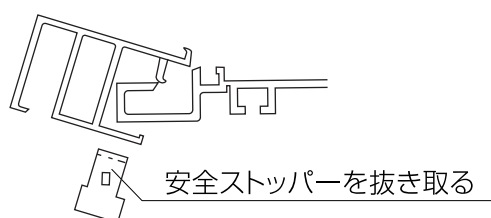
■直線部ユニット

① ローレットビスをゆるめて下さい。抜く必要はありません

② 開閉枠を大きく開きます。

③ 安全ストッパーは、両サイドをつまみ、内側に押す感じで、抜き取ります。紛失しないように注意して下さい。

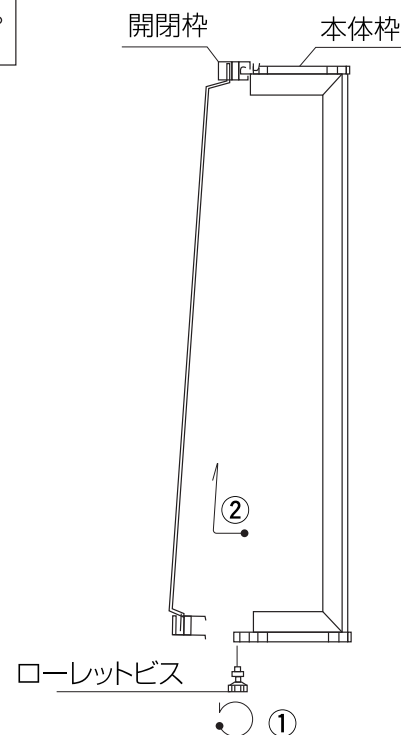
④ 開閉枠を、わずかに開いた状態までもどし、上に持ち上げますと、開閉枠は外れます。

※ 直線部ユニット（エンド）のみ下記コーナー部ユニットと同様の開閉枠の外し方となります。

⚠注意	サイズの大きい物は、2人で作業して下さい。 指をはさまないように注意して下さい。

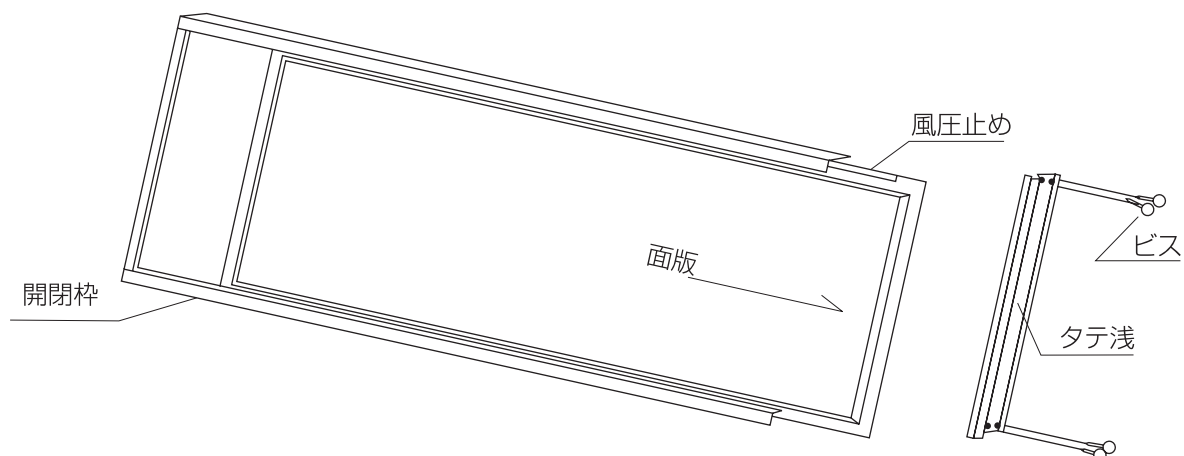
■コーナー部ユニット

① ローレットビスを抜き取って下さい。紛失しないように注意して下さい。

② 開閉枠を、わずかに開いた状態で上に持ち上げますと、開閉枠は外れます。

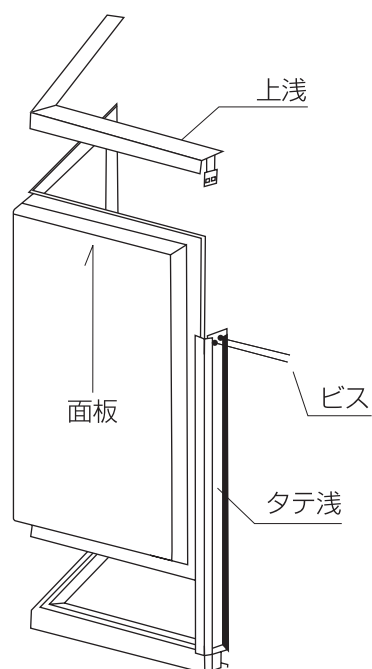
※ コーナー部ユニット・直線部ユニット（エンド）には安全ストッパーはありません。

■直線部ユニット

①タテ桟のビス⊕を4本抜き、タテ桟を外して下さい。
②面板は横にスライドして抜き取ります。

※直線部ユニット（エンド）のみ下記コーナー部ユニットと同様の面板の外し方となります。

ⓘ確認	開閉枠は本体枠より外し、平面上で面板の脱着をして下さい。
ⓘ確認	直線部ユニットの面板は、風圧止めのある方が上部です。 面板の意匠の加工は風圧止めが上に来るように注意して下さい。 （コーナー部ユニットの面板には上、下がありません。）
ⓘ確認	面板を差し込む場合、必ず風圧止めが上に来るようにして下さい。
⚠注意	面板は、壊れやすいので、取り扱いは十分に注意をお願いします。

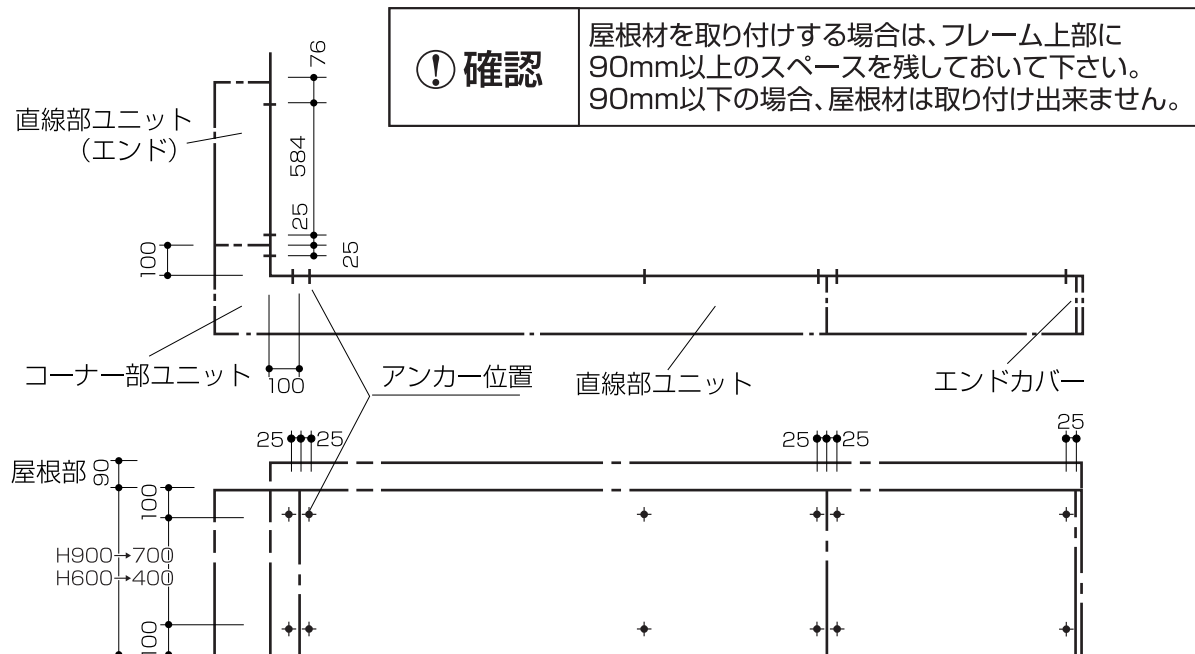
■コーナー部ユニット

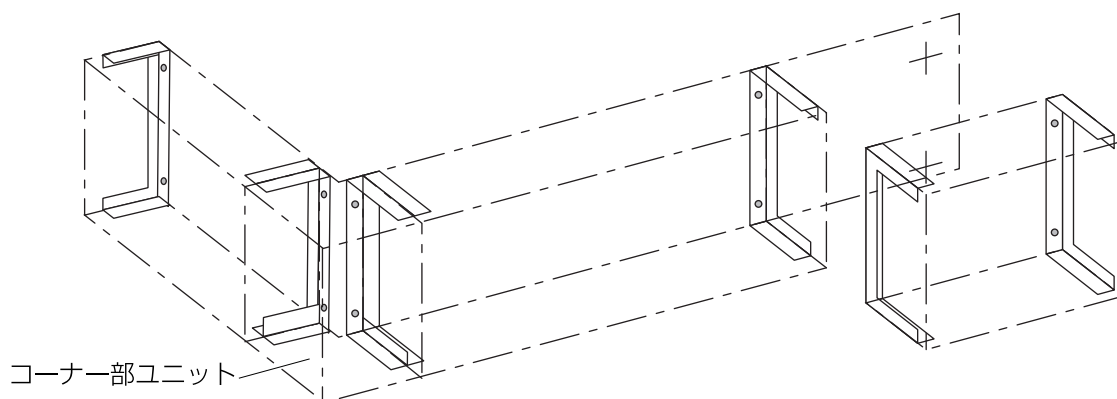
①左右のタテ桟の上部2本のビスを抜き、上桟を
上部へ外して下さい。

②面板は上部にスライドして抜き取ります。

⚠注意	面板は、壊れやすいので、取り扱いは十分に 注意をお願いします。

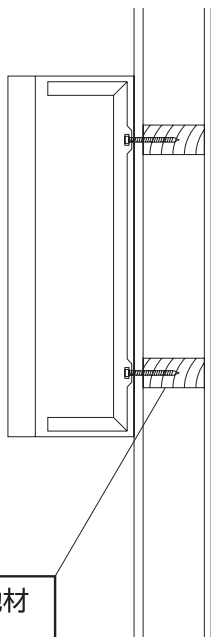
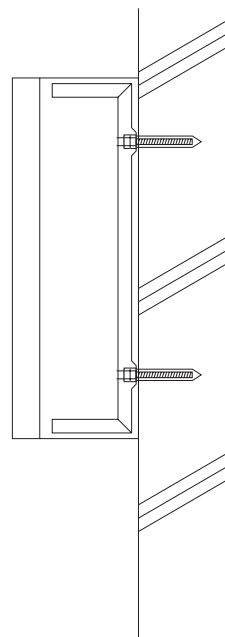
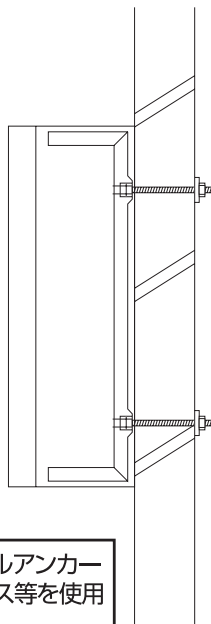
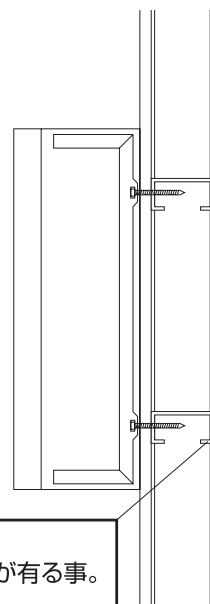
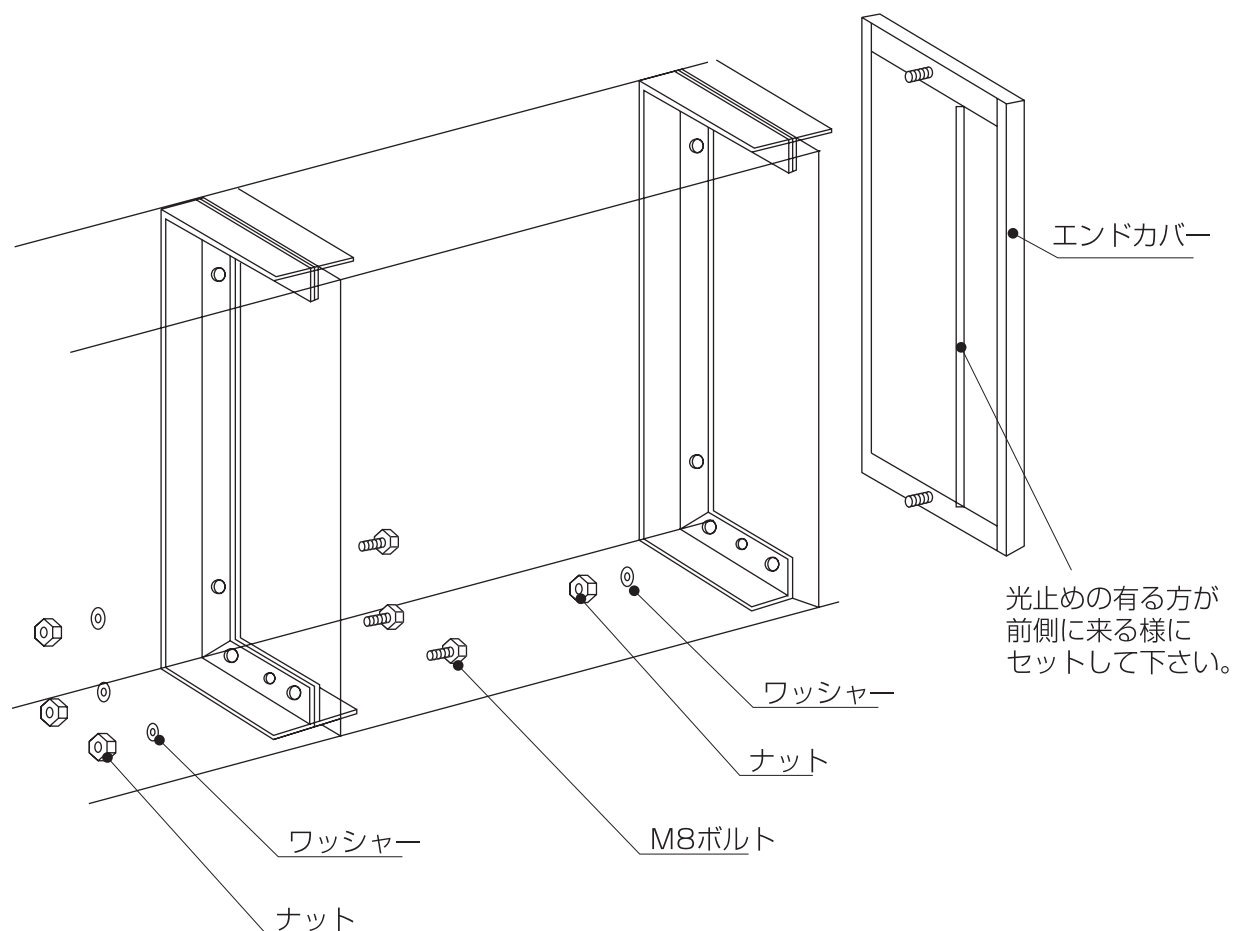
■墨出し

① 壁面に対して、墨出しをする時は、概要寸法図のアンカー位置を参考に、数値を割出して下さい。
コーナー部ユニットを使用する場合は、コーナーから墨出しして下さい。

! 確認	屋根材を取り付けする場合は、フレーム上部に 90mm以上のスペースを残しておいて下さい。 90mm以下の場合、屋根材は取り付け出来ません。

■取り付け

① 取り付けに際して、コーナー部ユニットがある場合は、コーナー部ユニットから順次取り付けて下さい。
（順序を間違えますと、ユニット間に、すき間が生じる原因になります。）

⚠警告	壁面より、アンカーボルトを選定する必要があります。次ページを参考にして、アンカーボルトを選定して下さい。
⚠警告	アンカーボルト位置に十分な強度の下地があることが必須条件です。強度が不足する場合は、胴縁等の下地を施工して下さい。（強度が十分でないと、看板の脱落により、事故をおこす原因となります。）
! 確認	アンカーボルトの本締めは、本体枠各ユニットの連結後に行います。（仮止時に、各ユニットの連結固定を確実に行って下さい。）

8　アンカーボルトの選定〈参考図〉

⚠警告	取付下地面は、十分な強度がある事が必須条件です。強度が不足する場合や取付部分に下地材が無い場合は、胴縁等下地工事を行って下さい。また、表面に凸凹がある場合は、スペーサー等を入れ取付面をフラットに仕上げて下さい。

9　本体枠の連結

アンカーボルトで仮止めした各ユニットをレベルに合わせながら、付属のボルト・ナット・ワッシャーにて、確実に連結して下さい。各連結はボルト6本にて固定します。

直線部ユニットが最後になる場合は、エンドカバーが必要です。光止めがある方を前側に来る様にナットとワッシャーを使用しセットして下さい。

各ユニットの連結完了後、仮止めとなっておりますアンカーボルトの本締めを行って下さい。

! 確認	レベルが合っていないと雨水の浸入の原因となります。 アンカーボルトの本締めが完全でない場合、脱落により事故をおこす原因となります。

10 屋根材の取り付け

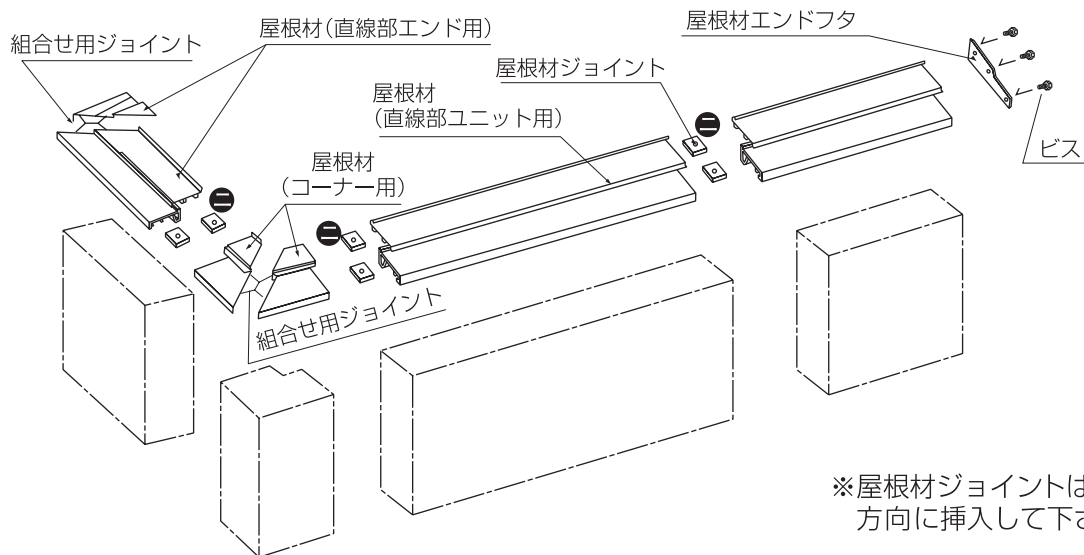
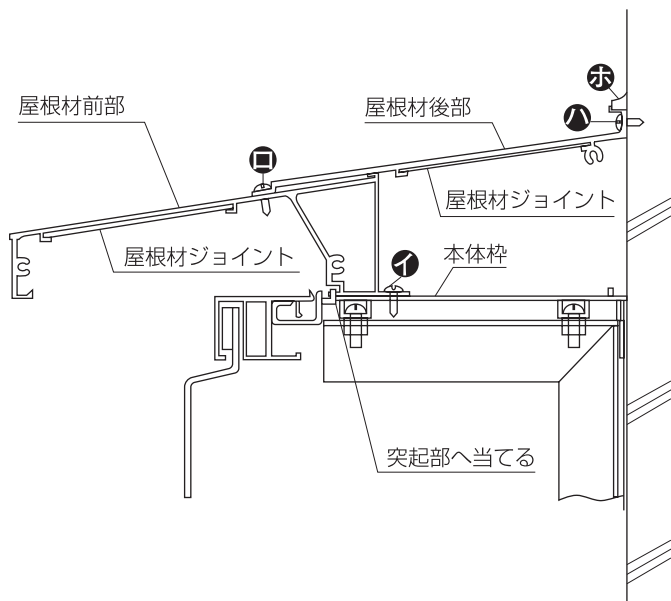
①直線部ユニット用は前部、後部の組み合わせとなっております。先ず前部を本体枠に付属のドリルビスで固定します。〈イ参照〉（本体枠の突起部に当て、位置を決めて下さい。）

②後部は壁面に当てながら前部の上にのせ付属のドリルビスで固定して下さい。〈ロ参照〉

③壁面と後部をビス止めして下さい。〈ハ参照〉ビスは壁面に合ったものを選定して下さい。

④直線部ユニット用の接続は屋根材ジョイントを差し込みながら接続して下さい。〈ニ参照〉接続部は上面より必ずコーキングして下さい。直線部ユニット用で始ま

り、終わる場合、屋根材エンドフタを付属のビスで取り付けて下さい。（左右あるので同色面を表にして下さい。）

⑤直線部エンド用・コーナー用は、前部2枚、後部2枚の組み合わせとなっております。組み合わせ用ジョイント材（前部のみ）で前部を組み合わせ①〜③の手順で取り付けて下さい。接続部は上面より必ずコーキングをして下さい。

※屋根材ジョイントは☐の方向に挿入して下さい。

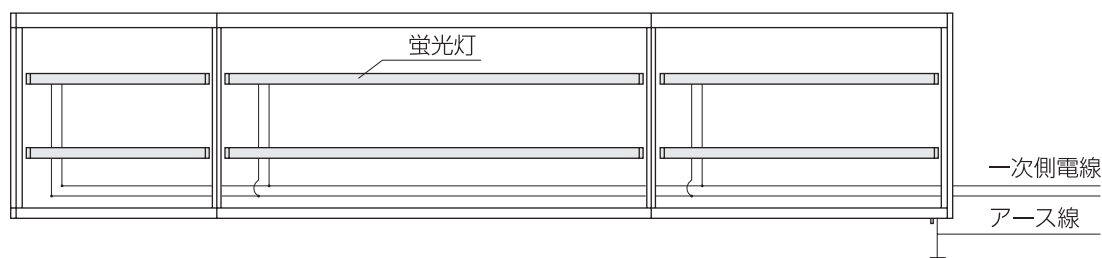
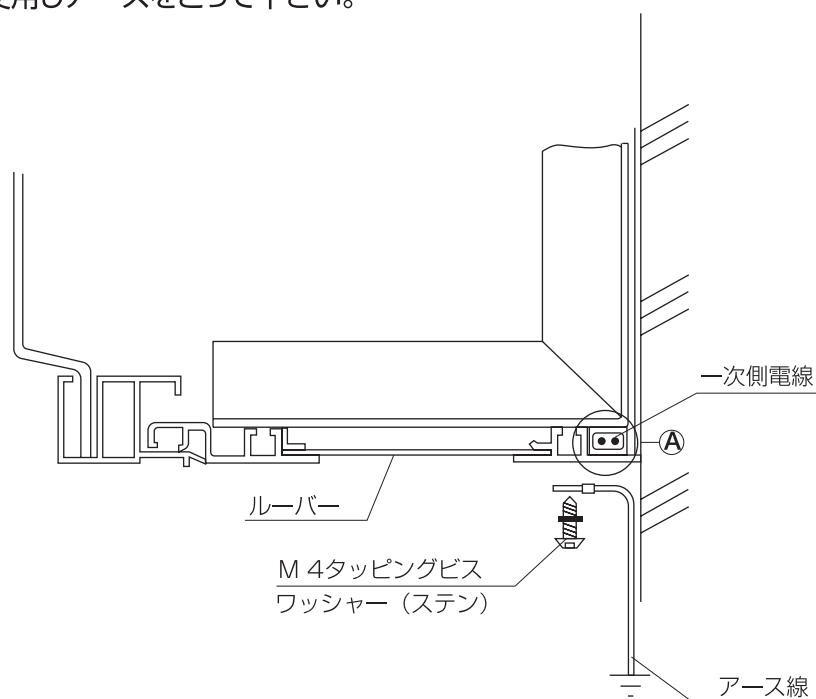
⑥壁面側も必ずコーキングして下さい。〈ホ参照〉

⑦コーナー部ユニット・直線部ユニット（エンド）がある場合の屋根材の取り付けは、このユニットを基点とし各々の屋根材を取り付けし、中間は直線部ユニット用にて調整して下さい。

ⓘ確認	本体枠の取り付けに際し胴縁等下地材を使用した場合屋根の幅は不足となり壁面との間にすき間ができます。雨水が入らない様に必ず現場で対応して下さい。 コーキングが完全でない場合、雨水が浸入し漏電の原因となります。

11 結線

各フレームごとの蛍光灯のコードは、フレーム内において1本にまとめています。一次側の電線をフレーム内に通していただき、各フレームごとのコードを一次側電線へ圧着端子等で結線して下さい。

フレーム下部にルーバーがありますので、電線は後方の溝（下図 {A参照} ）に通し、適所で固定して下さい。

※フレーム底面の適当な位置にアース端子接続用にM4タッピングビス（ステンレス）を取り付け、アース線を使用しアースをとって下さい。

⚠警告	結線工事は電気工事士の資格を持った技術者により、電気設備基準に準拠して行ってもらって下さい。 フレームから電線を出す場合、ゴムブッシングを使用し、電線の保護を行って下さい。 電線にキズを付けたり、挟み込んだ状態で使用すると、漏電・火災の原因となります。
ⓘ確認	アースは必ず設置して下さい。 結線後は必ず点灯、漏電のチェックを行って下さい。

12　開閉枠の取り付け

■直線部ユニット

① 開閉枠を、わずかに開いた状態で後枠に引掛けて下さい。

② 開閉枠を開き、所定の位置に安全ストッパーを完全に奥まで差し込んで下さい。

③ 開閉枠を閉じ、ローレットビスを締め付け固定して下さい。

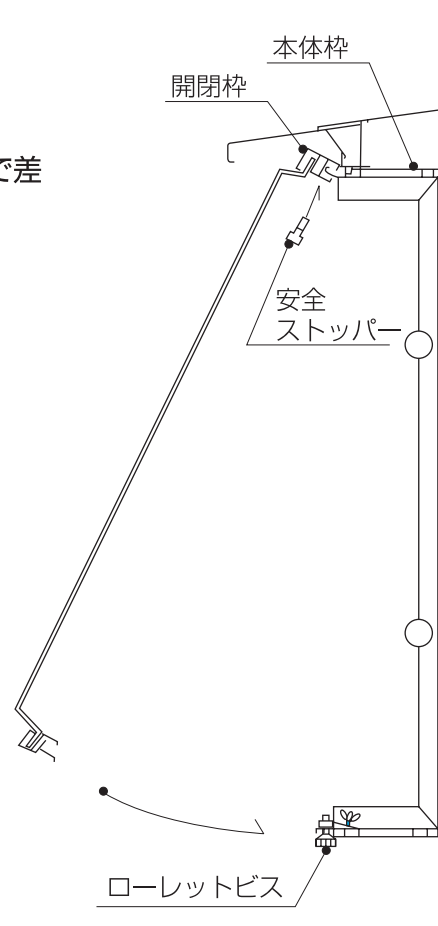
※直線部（エンド）のみ下記コーナー部ユニット同様の取り付け方となります。

■コーナー部ユニット

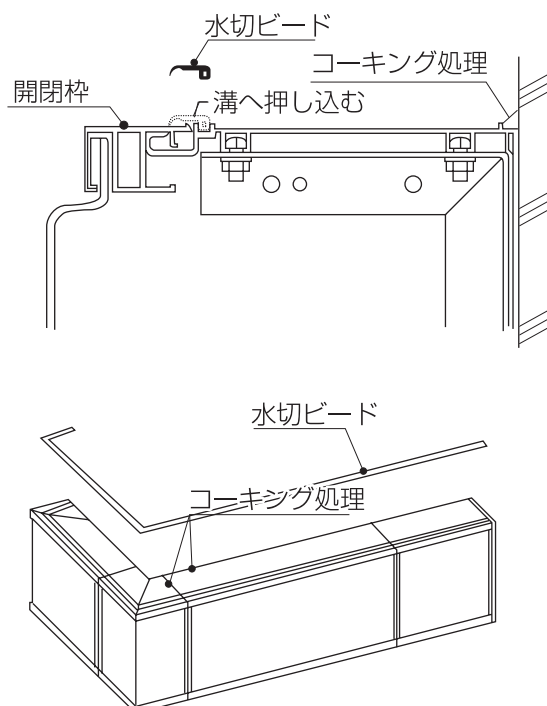
① 開閉枠を、わずかに開いた角度を保ち水平に押し込む要領で本体枠に引掛けて下さい。

② 開閉枠を閉じ、ローレットビスを差し込み、締め付けて固定して下さい。（安全ストッパーはありません）

⚠注意	開閉枠で、指など挟まない様に注意して下さい。

13　水切ビードの取り付け（屋根材を使用しない場合）

① 端から水切ビードを溝へ押し込みながらセットして下さい。コーナーは45°カットして突合わせて下さい。押し込みが終わった段階で、余分な部分をカットして下さい。

※シワが出ない様にして下さい。また、あまり引張りすぎると、カット後、短くなる場合があります。

ⓘ確認	水切ビードの取り付けは開閉枠の取り付け後となります。 また開閉枠を外す場合は水切ビードを外してから作業して下さい。
⚠注意	屋根材がないので枠の合わせ目、壁面に当たる部分は、全てコーキング処理をして下さい。 開閉枠の合わせ目にはコーキングしないで下さい。 開閉が出来なくなります。

■蛍光灯の交換について

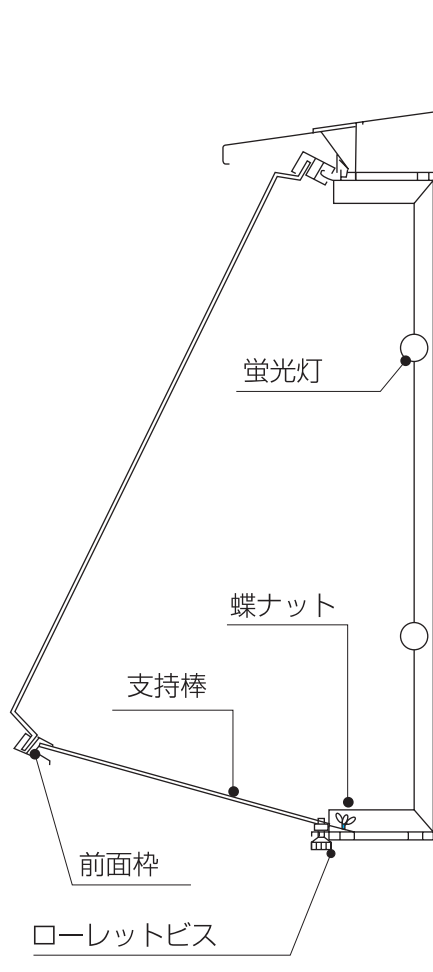
① 下部ローレットビスをゆるめ開閉枠を開いて下さい。

② 支持棒止の蝶ナットをゆるめ、支持棒の先端を開閉枠の溝へ引掛け、再度蝶ナットを締付け、支持棒を固定して下さい。

③ 蛍光灯は昼光色のランプをお使い下さい。蛍光灯の交換と同時にグロー球の交換もお勧めします。

④ 支持棒を収納し、開閉枠を閉じローレットビスで完全に固定して下さい。

※ コーナーユニット、直線部ユニット（エンド）には支持棒がありませんので開閉枠を外して下さい。

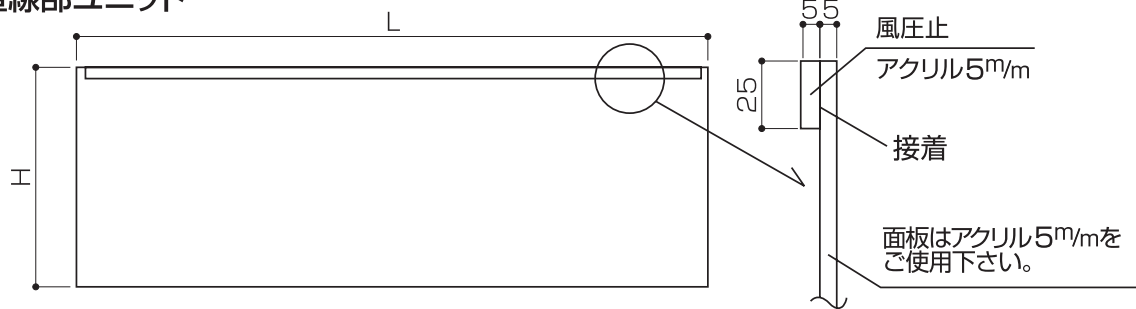
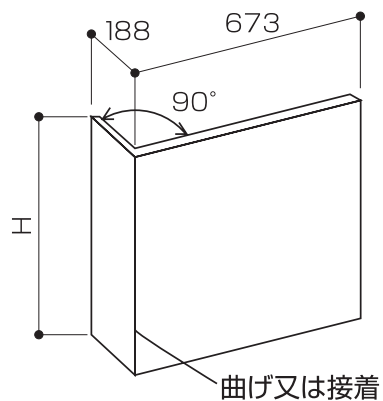
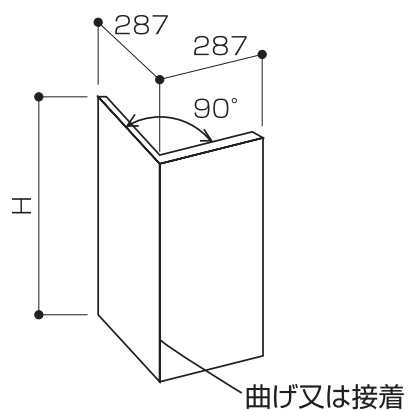
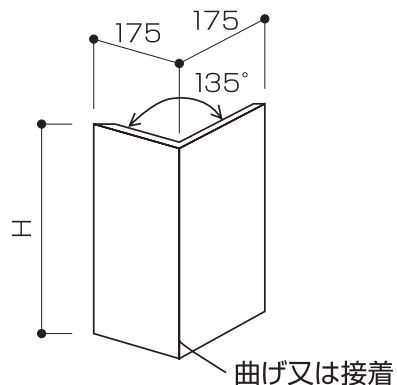
⚠警告	電源を切った上で作業を行って下さい。
①確認	支持棒の外れを防ぐ為、蝶ナットは確実に締め付けて下さい。作業中、支持棒が外れる事がありますので、支持棒には必要時以外は触れないで下さい。
⚠注意	開閉枠を開いて作業を行う場合は指などはさみケガをする場合がありますので十分注意して下さい。

■清掃について

うすめた中性洗剤をふくませた、柔らかい布またはスポンジにて、表面のヨゴレをふき取って下さい

⊘禁止	直接水をかけないで下さい。漏電の原因となります。
⊘禁止	シンナー等の溶剤は使用しないで下さい。
①確認	ユニット内部を清掃する場合は必ず電源を切って作業して下さい。

15　面板加工寸法

※面板を製作させる場合は下記寸法にて製作して下さい。

■直線部ユニット

■直線部ユニット（エンド）

■コーナー部ユニット90°

■コーナー部ユニット135°

ユニット	品　名	H	L
直線部ユニット	U6-300	593	294
	U6-650	593	644
	U6-900	593	894
	U6-1300	593	1294
	U6-1900	593	1892
	U6-2600	593	2592
	エンドU6-685左	595	左図参照
	エンドU6-685右	595	
コーナー部ユニット	コーナーU6-90°	593	左図参照
	コーナーU6-135°	593	
直線部ユニット	U9-300	893	294
	U9-650	893	644
	U9-900	893	894
	U9-1300	893	1294
	U9-1900	893	1892
	U9-2600	893	2592
	エンドU9-685左	895	左図参照
	エンドU9-685右	895	
コーナー部ユニット	コーナーU9-90°	895	左図参照
	コーナーU9-135°	895	

⚠注意	直線部ユニットの面板の上部に風圧止を接着して下さい。(25m/m巾で全長部のアクリルを接着して下さい。) 直線部ユニット(エンド)、コーナー部分ユニットには、風圧を接着する必要はありません。

製品は改良のため、予告なしに仕様変更する場合がございます。予めご了承下さい。

●製造元

三和サインワークス株式会社

本社・大阪支店	大阪市中央区城見1丁目2-27（クリスタルタワー28Ｆ）	
〒540-6028	TEL（06)6949-3001(代)	FAX（06)6949-3075(代)
東　京　支　店	東京都港区港南2丁目15-1（品川インターシティA棟30Ｆ）	
〒108-6030	TEL（03)5783-3001(代)	FAX（03)5783-3010(代)
福 岡 営 業 所	福岡市博多区西月隈3丁目2-13	
〒812-0857	TEL（092)472-7277(代)	FAX（092)472-7278(代)
京　都　工　場	京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字釜井谷1-44	
〒610-0261	TEL（0774)99-7702(代)	FAX（0774)99-7712(代)
埼　玉　工　場	埼玉県入間市宮寺字宮ノ台4030（武蔵工業団地内）	
〒358-0014	TEL（04)2934-5311(代)	FAX（04)2934-5313(代)
電材事業部 東京	東京都港区港南2丁目15-1（品川インターシティA棟30Ｆ）	
〒108-6030	TEL（03)5783-3009(代)	FAX（03)5783-3010(代)
電材事業部 大阪	大阪市中央区城見1丁目2-27（クリスタルタワー28Ｆ）	
〒540-6028	TEL（06)6949-3443(代)	FAX（06)6949-3075(代)
電 材 事 業 所	茨城県かすみがうら市加茂5289-1	
〒300-0198	TEL（029)828-1615(代)	FAX（029)828-1289(代)

ホームページアドレス
http://www.sanwa-signworks.co.jp/

メールアドレス
info@sanwa-signworks.co.jp

2010.04(08)